

開校記念日

今年度は開校記念日（5月20日）が土曜日にあたりましたので、前日19日（金）に全校集会を実施し、校長先生より講話をしていただきました。

終戦翌年、長崎県最後の旧制中学として開校した西彼杵高校は、昨年度創立70周年を迎え新たな一歩を踏み出したところです。校長先生から、「大正の初め頃には、この

地域の方々は学びたくても旧制中学が無く、長崎や佐世保まで行かなくてはならなかった。先人の大きな願いと努力の上に私たちは学校生活を送ることができています。この学校で良かった、この学校に学ぶために来た という気持ち



で今の学校生活をより良いものにしてほしい、そういう努力を皆に願いたい。」とお話がありました。また「西濤の【濤】はうねりを伴った大きな波という意味があります。これからの君たちの有り様を表す言葉です。波を起こすには勢いが必要です。大きな波を起こそうという気迫・気持ちを持って生活してほしい。」とも仰いました。

